

要望事項 (優先順位 3)

通学圏と学区境界線の統一

要 旨

養正小学校の通学圏と行政サービスの他学区の境界線が一致しておらず、叡山電鉄の北側に住んでいて養正小学校に通学している児童は避難訓練を養正小学校で行っているにも関わらず、避難所は養徳小学校となります。

まちづくりの視点としても学区の統一は重要な課題であり、通学圏を学区境界線に統一することを要望します。

回 答**(教育委員会)**

本市の小中学校の通学区域については、町界などの地理的条件のほか、教育上適正な児童・生徒数の確保や学校施設の収容力、学校と地域のつながりや歴史的な諸条件等を総合的に考慮して設定しており、長年にわたり定着しております。

通学区域を変更することは、学校教育活動はもとより、種々の活動に多大な影響を及ぼすことから、原則として行わないこととしております。

御要望の養正小学校と養徳小学校の通学区域を学区境界線に統一する形で変更することを希望される場合につきましては、養正学区及び養徳学区の学区自治組織との調整、また、対象となる地域にお住まいで、現に養正小学校、養徳小学校へ通学されている児童とその保護者を含め、地元の総意として御意見をとりまとめたいただき、教育委員会に御要望いただくようお願いします。

そのうえで、教育委員会として、児童数や学校施設の状況等を踏まえた通学区域の在り方について検討をさせていただくこととなります。

今後とも、子どもたちが充実した学校生活を送ることができるよう取り組んでまいりますので、御理解・御協力のほどよろしくお願いいたします。

(左京区役所)

養正学区及び養徳学区のように、同一町内であっても、番地によって小学校区や中学校区が異なる地域が存在しておりますことは、区役所も承知いたしております。また、一方で、通学区域にかかわらないコミュニティーを確立し、自治会活動等を運営されている地域もあります。

大地震等の発生時には、お住まいの学区の避難所でないところに避難される方が多数発生することは、十分に考えられることです。防災の観点から申し上げますと、有事の際、隣り合う学区が互いに協力しあえる体制やルール作りを行っていただくことが肝要であると考えます。